

花 4月～5月	ユリ科	
チゴユリ		
<p>林床に生え、茎の長さは15～40cm。茎は通常枝を分けず、頂に花を1～2個斜め下向きにつける。花は白く、花被片を広げて咲く。花が似るオオチゴユリは全体的に大きく、よく枝分かれする点異なる。</p>		
花 4月～10月	キンボウゲ科	
キツネノボタン		
<p>田んぼの周辺なのでよく見かける</p> <p>日本全国の水田周辺の水路やあぜ道など、やや湿気った土地に自生。</p> <p>草丈30～60cmで、茎は直立または斜めに立ち上がり、毛はほとんど生えない。葉は三出複葉で、小葉は3裂する。小葉の鋸歯はケネツノボタンと比べてとがらない。花は直径1cmほどで、5枚の花びらには光沢があり、日に当たると輝く。果実(集合果)はコンペイトウ状で、それぞれの突起の先は鍵状に曲がる。</p>		
花 4月～5月	シソ科	
カキドオシ		
<p>北海道～九州までの草地によく見られる。茎は春のうちは直立するが、夏になるとつるのように地面を這う。このつる性の茎が垣根を越えて伸びることから「垣通し」の名前がつけられた。花は唇形をしており、上唇よりも下唇が2倍ほど長い。</p>		